

2030年。日本は ユートピアかディストピアか ～はじまり～

ヒューマナライズマーケティング研究室

株式会社ペンシル

2021年10月



NETWORK



STRATEGIC



CREATIVE



COMMUNICATION

～はじめに～

はじめに

2021年10月。SDGsがはじまって6年が経ちました。
世界的にも促進され、日本企業も積極的にこの取組みに参加しています。
では、SDGsは、一体なにを実現しようとしているのでしょうか？

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



持続可能な開発目標（SDGs）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載されている2016年から2030年までの国際目標です。

持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。

SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本も積極的に取り組んでいます。

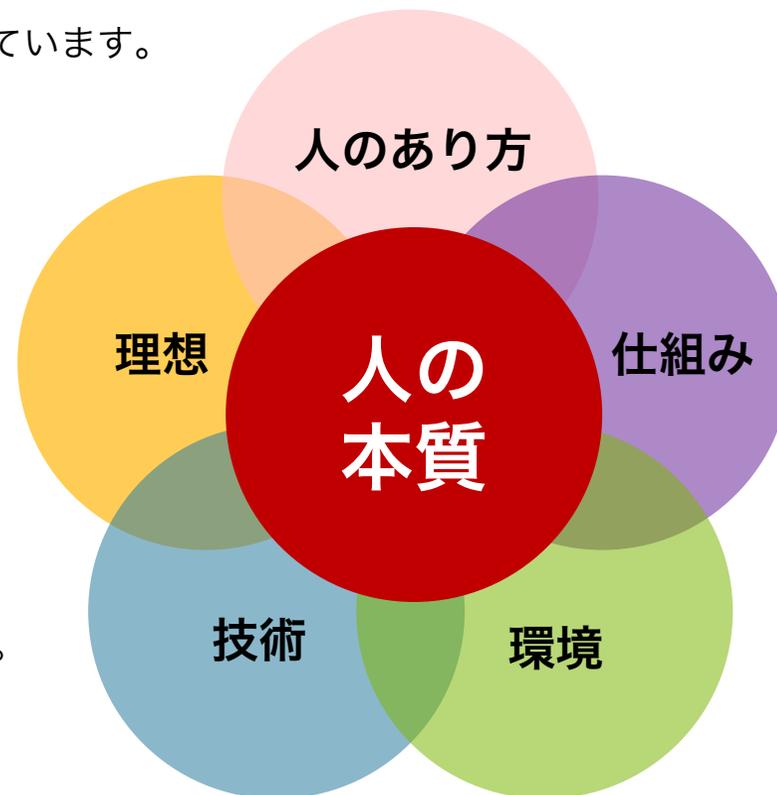
これらを実現すること。つまり
日本は今、**社会のあり方を変えようとしているのです。**

社会が変わるとは？

では社会が変わるとは、「なに」が変わるのでしょうか？
我々は大きく以下の5つの要素が変わり干渉し合うことだと考えています。

- ・ **人のあり方**・・・主流の考え方や人の立場
- ・ **理想**・・・社会的に良しとされるもの・状態
- ・ **仕組み**・・・政治の状態や働き方など
- ・ **技術**・・・科学技術やエネルギー技術など
- ・ **環境**・・・自然環境や取り巻く経済状態など

その反面絶対に変わることができないものもあります
それが**人間のコアとなる部分、『人の本質』**です。
この『人の本質』には、心理や動物としての本能なども含みます。
そして、良い変化・悪い変化に関わらず、
あらゆる変化は人の本質を経由します。
それによって円滑に変化が進む場合もあれば
人の本質が変化の壁となる場合もあります。
変化を起こすのであれば、このことを理解しておかねばなりません。



これらの観点から**日本の未来とSDGs**を考察していきます。

果たして日本は本当に変わることができるのでしょうか？

もくじ

公開予定情報

2021年10月中旬～10月下旬
公開2021年11月中旬～11月下旬
公開2021年12月中旬～12月下旬
公開2022年1月中旬
公開は
じ
ま
り変
革混
乱
と
混
沌未
来

は じ ま り

●概要

- ・ SDGsはなぜ生まれなければならなかったのか
- ・ 全体像

●これまでのSDGs

- ・ 第一のできごと ～エネルギー革命～
- ・ 第二のできごと ～デジタル革命～
- ・ 問題の整理
- ・ 登場。MDGs
 - ・ 8つの目標の関連性
 - ・ 成果
- ・ 誕生。SDGs
 - ・ 現在のSDGs
 - ・ ペンシルとSDGs
- ・ まとめ

●次回予告

概要

SDGsはなぜ生まれなければならなかったのか？

Question

そもそもSDGsはなぜ生まれなければならなかったのでしょうか？
そのはじまりについて、特に日本に大きく関わりのある部分をご紹介します。

Fact

社会は変えようとしなくても、変化していくものです。
その中で当然、歪みや課題は発生します。
それらを大きく進め、強制的に社会を変えた2つのできごとがあります。

Result

それにより、様々な問題が顕在化しました。

Next page

今回はそんなお話

全体像

2つの大きな変化

エネルギー革命

高度経済成長



重工業化



デジタル革命

コンピュータ
の活用生産の
自動化・効率化変化による
問題の顕在化理想と
人のあり方
の不一致

格差

環境
問題公害
問題少子
高齢化社会を変える
取組み

対策としてのMDGs

貧困
飢餓

極度の貧困と飢餓の撲滅

妊産
婦

妊婦の健康の改善

初等
教育

初等教育の完全普及の達成

疾患

HIV/エイズ、マラリア、
その他の疾患の蔓延の防止

平等

ジェンダー平等推進と
女性地位の向上

環境

環境の持続可能性の確保

乳幼
児

乳幼児死亡率の削減

連帯

開発のためのグローバルな
パートナーシップの推進

刷新としてのSDGs

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



これまでのSDGs

第一のできごと ～エネルギー革命～

エネルギー革命 石炭燃料から石油燃料へ

高度経済成長にともない、労働力不足が深刻化しました。その解決策として、非正規雇用という採用形態が流行しました。この形態は雇用を生んだ一方で**低賃金での労働を常識化するきっかけ**となりました。それにより正規雇用者と非正規雇用者の格差が生まれました。また、重工業化の影響で工業排水や二酸化炭素の排出量の増加などからくる**環境問題**（※1）や**公害問題**も深刻化しました。

（※1）独立行政法人環境再生保全機構：高度経済成長による産業の重化学工業化と大気汚染（1955～1964年）より
https://www.erca.go.jp/yobou/taiki/rekishi/02_01.html

高度経済成長 重工業化



常識

- ・非正規雇用形態
→**低賃金労働の加速**（※2）
- ・中卒は金の卵
→進学しなくても職はある

技術

人のあり方

理想

仕組み

歪み

工業排水 二酸化炭素 物の増加
科学ガス 産業廃棄物

など

環境問題と公害問題

地球温暖化 酸性雨 騒音問題
水質汚染 大気汚染 森林破壊

など

環境

（※2）厚生労働省：平成25年版 労働経済の分析 ―構造変化の中での雇用・人材と働き方―より
https://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/roudou/13/dl/13-1-5_03.pdf

第二のできごと ～デジタル革命～

デジタル革命

コンピュータ技術の発達

コンピュータ
の活用



生産の
自動化・効率化



常識

- ・頭脳労働が中心の労働形態の加速
→**教育の重要性の高まり** (※3)

技術

人の
あり方

理想

仕組み

歪み

- ・インフラ環境などの不均一
- ・非正規雇用の継続
→親世代の困窮

格差社会・少子高齢化の加速

教育格差	情報格差	少子化
経済格差	地方格差	

環境

コンピュータ技術と普及により**頭脳労働**や**知識・技術を問う労働**がより一層**重要視**されるようになりました。

それに伴い教育の重要性が増しました。しかし、いまだ非正規雇用の流れを汲んでおり、さらに労働の主体が肉体労働から頭脳労働へ移行してしまっていることから、**経済格差が深刻化していきました**。

それにより、子どもを高等教育機関に進学させることができず**教育格差**が加速。教育を十分に受けることができないと、賃金条件が良い職に就くことが難しく、それが**経済格差・教育格差を生む**という負のサイクルが生まれました。

経済的困窮により「子どもを作らない」という選択肢の後押しになったと考えられ、それが少子化加速のひとつの要因であると考えられます。

(※3) 厚生労働省：平成29年版 労働経済の分析 ―イノベーションの促進とワーク・ライフ・バランスの実現に向けた課題―より
https://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/roudou/17/dl/17-1-2-1_03.pdf

問題の整理

理想と人のあり方の不一致

教育の重要性が高まり、高等教育への進学が理想であっても、経済的な理由や本人が原因ではないところで、不一致が起きている。

少子高齢化

経済格差も一因となって起こっている問題だが若者の減少は結果として若者にかかる高齢者を支える負担が増すことになり、経済的窮困を引き起こしそれがまた少子化に拍車をかけてしまう。

環境・公害問題

地球温暖化、酸性雨、大気汚染に代表され様々な問題を抱えている。
また、これらは健康被害ももたらす。

格差

経済格差、教育格差、地域格差、情報格差など様々な格差が存在しているが、これらの格差は独立ではなく、ひとつの格差がまた別の格差を生む原因となっている。

例) 経済格差により、子どもに高等教育を受けさせることができず教育格差が生まれる など

これらの問題は以前から存在していた可能性はあります。

しかし、日本においては

エネルギー革命、デジタル革命を通して大きく加速し、より顕在化したと考えられます。

登場。MDGs

そこで登場したMDGs

ミレニアム開発目標（Millennium Development Goals: MDGs）は、開発分野における国際社会共通の目標です。2000年9月にニューヨークで開催された国連ミレニアム・サミットで採択された国連ミレニアム宣言を基にまとめられました。

MDGsでは8つの目標が掲げられました

貧困
飢餓

極度の貧困と飢餓の撲滅

妊産
婦

妊婦の健康の改善

初等
教育

初等教育の完全普及の達成

疾患

HIV/エイズ、マラリア、
その他の疾患の蔓延の防止

平等

ジェンダー平等推進と
女性地位の向上

環境

環境の持続可能性の確保

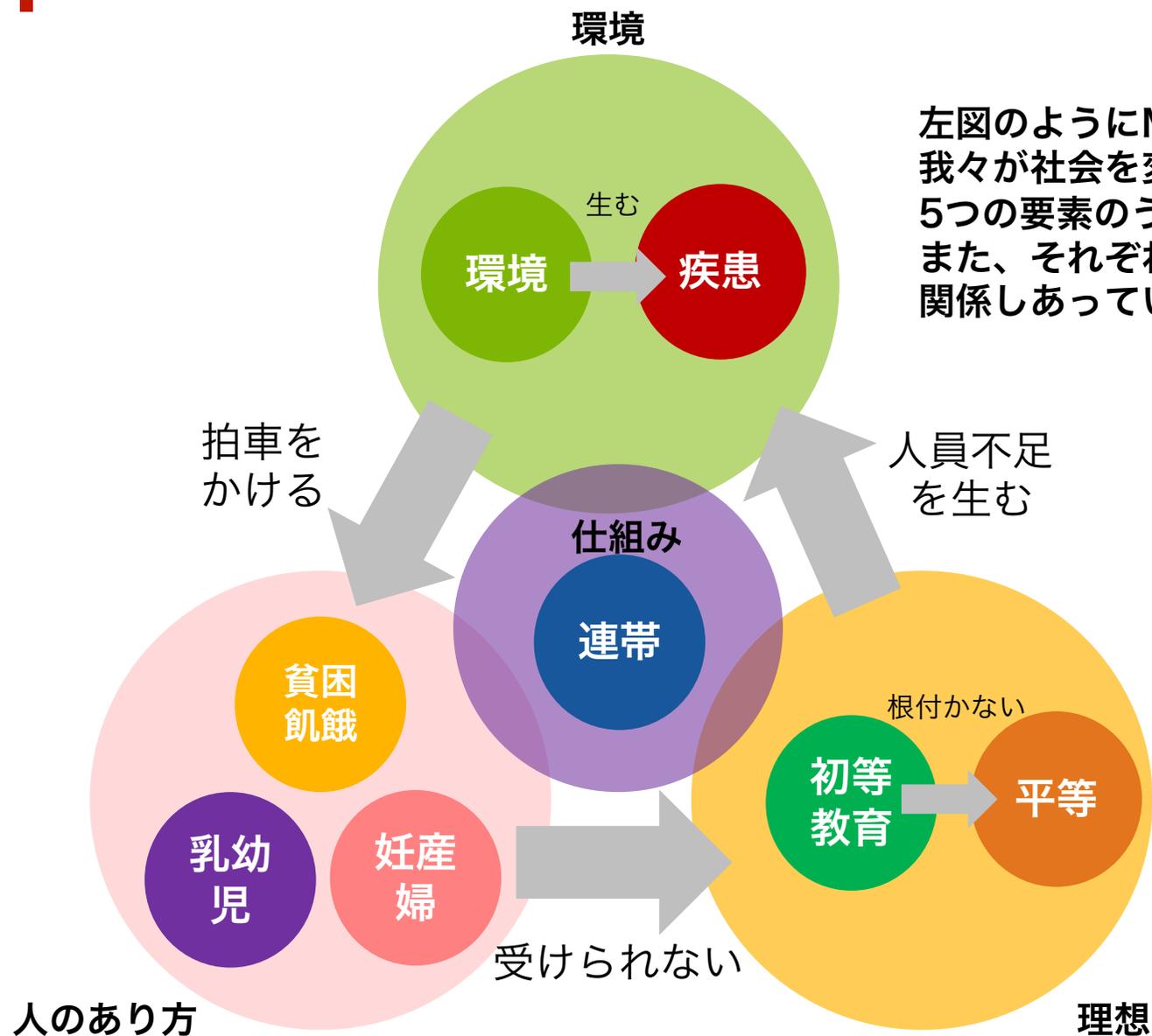
乳幼
児

乳幼児死亡率の削減

連帯

開発のためのグローバルな
パートナーシップの推進

8つの目標の関連性



左図のようにMDGsの目標には我々が社会を変えるために必要だと考えている5つの要素のうち4つが採用されています。また、それぞれの目標は独立ではなく関係しあっています。

MDGsの成果

成果

貧困
飢餓

10億人以上が極度の貧困を脱した
子どもの死亡率は半分以下に減少

疾患

HIV／エイズ感染件数が
40%近く減少

初等
教育

学校に通えない子どもの数が
半分以下に減少

課題

妊産
婦

妊婦の健康の改善

乳幼
児

乳幼児死亡率の削減

継続

平等

ジェンダー平等推進と
女性地位の向上

環境

環境の持続可能性の確保

連帯

開発のためのグローバルな
パートナーシップの推進

環境・人のあり方・理想の
それぞれ1項目ずつに関して成果を出しています。
社会を変えていくという視点では、
バランスよく達成できているようにみえます。
しかし、成果が出せた項目も解決に至ってはいないこと、
5/8の目標で成果が認められていないなど目的の達成には
届きませんでした。

外務省：持続可能な開発目標（SDGs）達成に向けて日本が果たす役割より
https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/sdgs_gaiyou_202108.pdf

誕生。SDGs

SDGsの誕生

MDGsの課題や継続点の解決、さらには世界の変革を加速させるべくSDGsが誕生しました

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



SDGsはなぜ生まれなければならなかったのか。その答えは
目まぐるしい変化によって多くの問題が顕在化し、それらに対応するためには
世界そのものを変えていかなければならなかったから

日本の現在のSDGs

8つの優先課題の選定

人間 (People)

- ・あるゆる人々が活躍する社会、ジェンダー平等の実現。
- ・健康・長寿の達成。

繁栄 (Prosperity)

- ・成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション。
- ・持続可能で強靱な国土の質の高いインフラ設備。

地球 (Planet)

- ・省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会。
- ・生物多様性、森林、海洋等の環境の保全。

平和 (Peace)

- ・平和と安全・安心社会の実現。

パートナーシップ (Partnership)

- ・SDGs実施推進の体制と手段

外務省：持続可能な開発目標（SDGs）と日本の取組より
https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs_pamphlet.pdf

SDGsアクションプラン2021（※4）

- (1) 感染症対策と次なる危機への備え
- (2) よりよい復興に向けたビジネスとイノベーションを通じた成長戦略
- (3) SDGsを原動力とした地方創生、経済と環境の好循環の創出
- (4) 一人ひとりの可能性の発揮と絆の強化を通じた行動の加速

ジャパンSDGsアワード（※4）

SDGs達成に資する優れた国内外の取組を行っている日本に拠点を置く企業・団体を表彰することで企業のSDGsへの関心とモチベーション向上を狙っている。企業のモチベーションが高まることが必然的にその企業の社員がSDGsに触れる機会となる。

SDGs未来都市（※4）

自治体によるSDGsの達成に向けた取組を公募し、優れた取組を提案する都市を「SDGs未来都市」として選定。その中で先導的取組を行う都市を「自治体SDGsモデル事業」に選定し資金的に支援。成功事例の普及展開等を通じ自治体におけるSDGsの達成に向けた取組の拡大を目指す。

（※4）外務省：持続可能な開発目標（SDGs）達成に向けて日本が果たす役割より
https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/sdgs_gaiyou_202108.pdf

ペンシルとSDGs

ペンシルも持続可能で発展的な都市形成に貢献するため、クリエイティブクラスや高度デザイン人材など創造性豊かな人材が、その能力を存分に発揮し、新たな文化を創出できる、多様な文化や価値観を受け入れる寛容性の高い企業を目指しています。



詳しくは
<https://www.pencil.co.jp/about/SDGs/>

まとめ

まとめ

2つの大きな変化

エネルギー革命

高度経済成長



重工業化



デジタル革命

コンピュータ
の活用



生産の
自動化・効率化



変化による 問題の顕在化

理想と
人のあり方
の不一致

格差

環境
問題

公害
問題

少子
高齢化

社会を変える 取組み

対策としてのMDGs

貧困
飢餓

極度の貧困と飢餓の撲滅

妊産
婦

妊婦の健康の改善

初等
教育

初等教育の完全普及の達成

疾患

HIV/エイズ、マラリア、
その他の疾患の蔓延の防止

平等

ジェンダー平等推進と
女性地位の向上

環境

環境の持続可能性の確保

乳幼
児

乳幼児死亡率の削減

連帯

開発のためのグローバルな
パートナーシップの推進

刷新としてのSDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



まとめ

2つの大きな変化

理想を追いかけ

社会を変える
取組み

技術・仕組みの発展・刷新によって

人の本質が追いつかず

環境・人のあり方に生じた歪み

デジタル革命

コンピュータ
の活用

生産の
自動化・効率化

それが

17の目標で解決すべき課題なのです



次回予告

次回予告

2021年11月中旬～11月下旬公開

変革

次回からは遂に本題…
社会が変わっていく様子を考察していきます。

昨今の技術の目まぐるしい発展により
人のあり方、取り巻く環境、仕組み、理想などが常に変化し
社会がアップデートされています。

人々は様々な「**未知**」と遭遇し、それに伴い**世界が変革**していきます。

変革はいまの「**当たり前**」を破壊します。

変革のなかで人々はなにを見、なにを活用し、なにを思うのか
そして変革に人の本質はどう反応するのか

乞うご期待…！